感染防護研修会の推進とワクチン接種ボランティア支援の実践により医療資源の限られた地域をパンデミックから守る取り組み

NPOわれらはふるさと医療応援団　平出敦、伊藤栄次、窪田愛恵、新木基子
京都橘大学　野島敬祐、西本泰久、久保山一敏

本発表に関して発表者が開示すべき利益相反はありません。

山添村風景

山添村キャラクター（てんまる）

NPO法人われらはふるさと医療応援団

職種	人数（名）
医師	6
看護師	4
救急救命士	3
臨床工学技士	1
一般	1
薬剤師	**26**
合計	41

NPOとしての登記　2019年7月5日

NPO　われらはふるさと医療応援団設立の経緯

文科省「**チーム医療推進**のための大学病院職員の人材養成システムの確立」
事業大学：近畿大学
取組名称：救急災害医療のためのチーム医療推進
取組期間平成２３年度 ～ 平成２５年度　（３年間）

↓

文科省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」
事業大学：近畿大学
取組名称：**災害医療**のメディカルディレクター養成
取組期間平成２６年度 ～ 平成３０年度　（５年間）

↓

開発した教育研修プログラムの普及、活用

NPO設立

国際救急災害シンポジウム

エボラ出血熱、SARSの診療経験をもつ海外の専門家を招いて学びを進めた。

①プレミーティング。
プロジェクトの連携大学のスタッフ、各国からの講演者がすべて集まってプレミーティングを行った。また、産業医科大学の久保達彦講師からJDR(Japan Disaster Relief)の視点から、"Standardization of disaster medical record"についてご講演いただいた。

②シンポジウムの開会。
シンポジウムの開会を近畿大学救急医学の西内辰也准教授より宣言し、第一部の進行をはじめた。

③シンポジウム第一部の、Kristi L. Koenig教授の講演に対して、韓国ソウル大学のSang Do Shin准教授が質問している。

④シンポジウム第二部のIrving "Jake" Jacoby教授の講演風景。

⑤シンポジウム翌日。災害医療のための人材養成ワークショップでの議論。各国のグループディスカッションの成果をもちよって議論をおこなった。人材養成のための登録者が継続的な学習が

⑥シンポジウム関係者の集合写真。記念に残る1枚。

丹後　大仏

2021年4月3日

福井県 大野市 面谷

東京新聞　2020年4月28日

われらは ふるさと医療 応援団

目的

中山間地域をパンデミックから守る

方法

活動	サポート
① 感染防護研修の推進	JR西日本あんしん社会財団
② ワクチン接種の支援	クラウドファンディング
③ 管轄する保健所の支援	IHEAT

IHEAT：**I**nfectious disease **H**ealth **E**mergency **A**ssistance **T**eam

結果

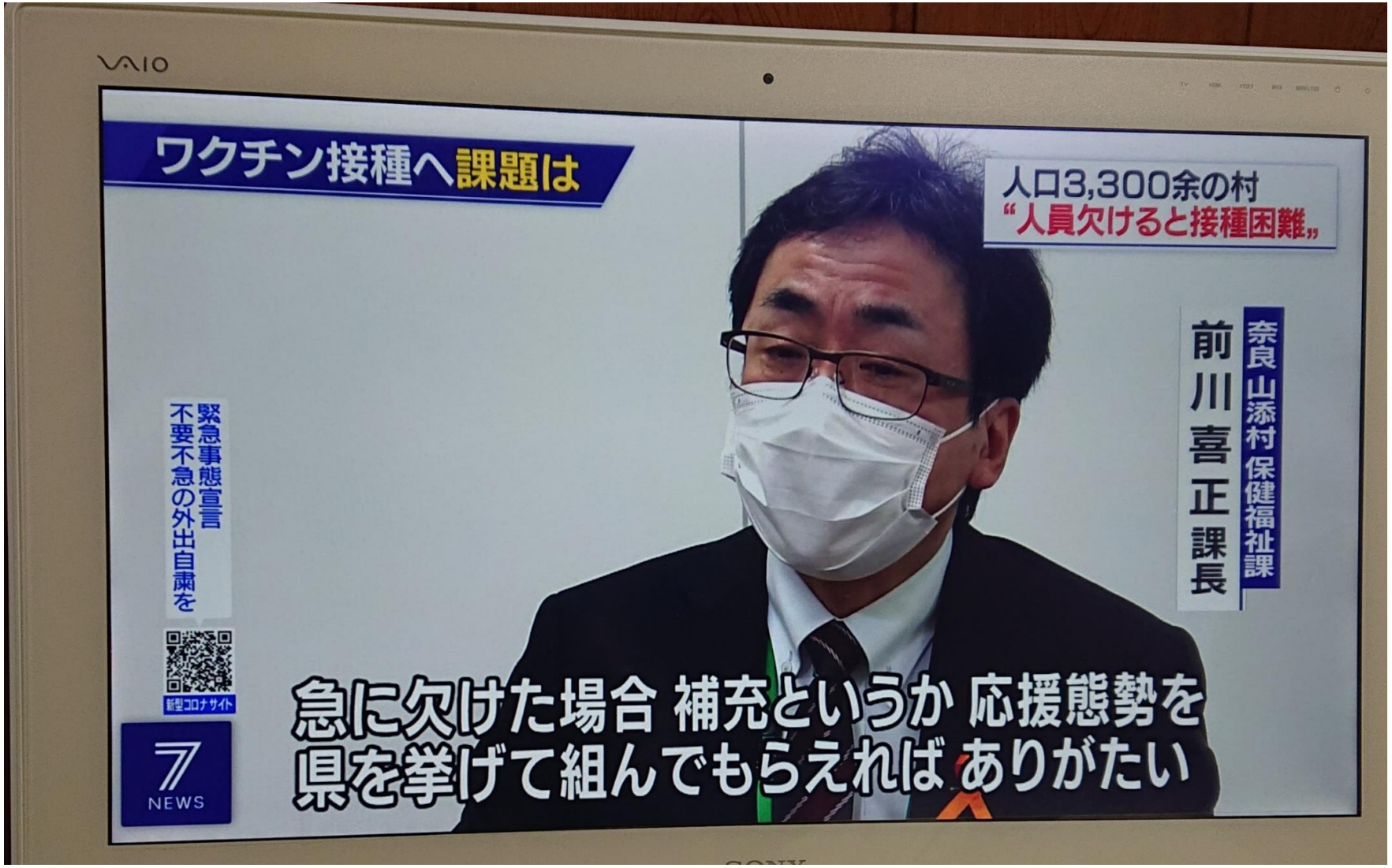
①　感染防護研修の推進

受講者

受講者：医師、訪問看護を担当する看護師、保健師、介護施設のリハビリテーション関係者を含むスタッフ、開業している鍼灸師、カイロプテクティック業、介護支援専門員、集落支援員、介護タクシー運転手

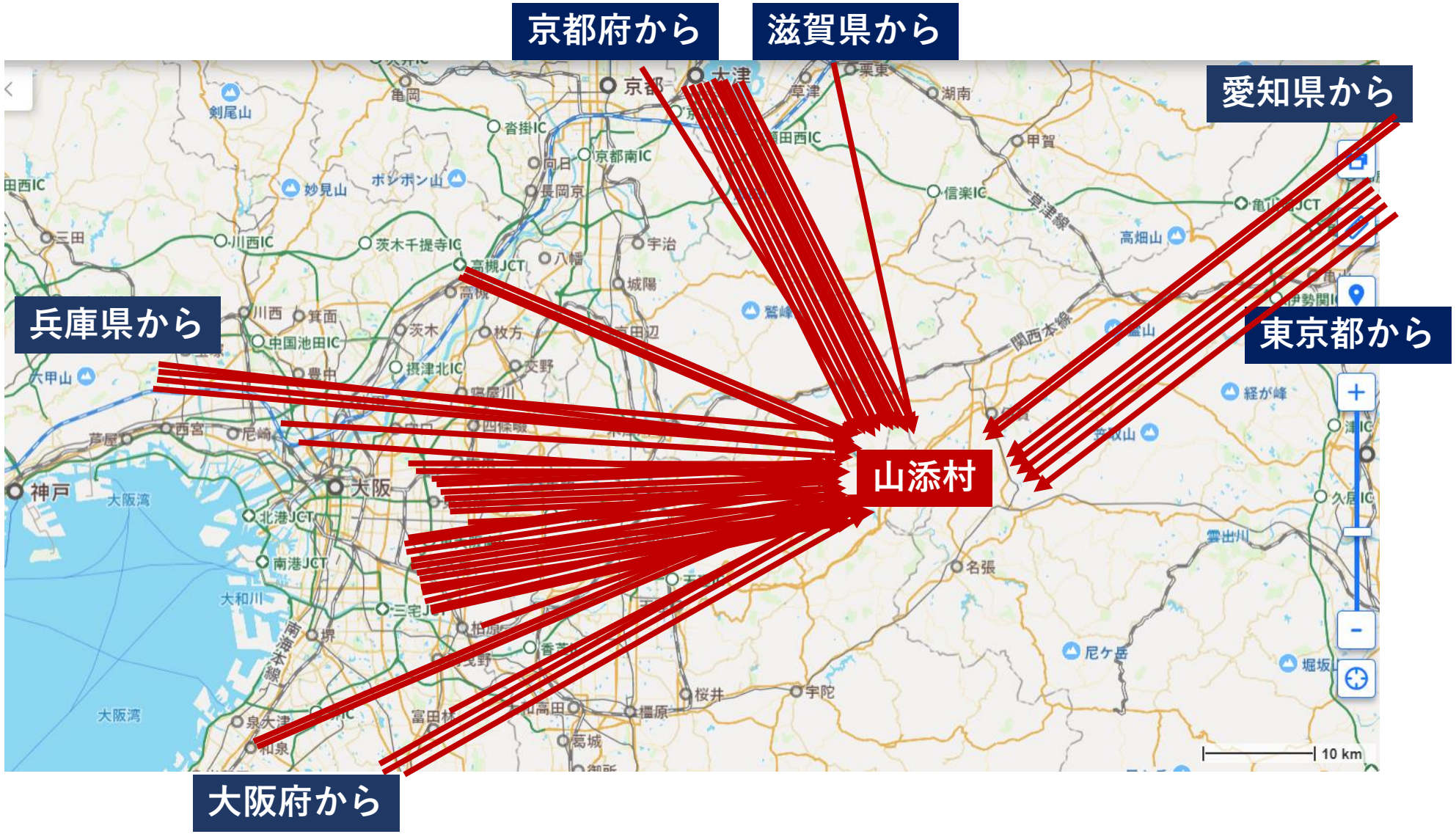
②　ワクチン接種の支援

2021年1月26日の
テレビ番組より



②　ワクチン接種の支援

2021年　のべ117人が参画、移動距離は21,854km
2022年　のべ28人が参画中



②　ワクチン接種の支援

適切なワクチン調製

②　ワクチン接種の支援

50歳　女性

2022年2月1日

ワクチン接種後、四肢のしびれを訴えた（18時26分）。
呼吸困難となり、顔面紅潮を認めた。
支援医師が、アナフィラキシーと診断して、直ちにエピペン（アドレナリン注射薬）を筋注した（18時27分）。
筋注後、脈拍128/分。血圧　171/99 mmHg（18時35分）。
救急隊到着（18時37分）。奈良県総合医療センターに搬送。

本人に、アレルギー歴なし。
（1週間前に、プラセンタ注射を受けた。）

ワクチン接種の進行に影響なかった。

③　管轄する保健所の支援

IHEAT

2021年10月19日放送　7:23 - 7:30　NHK総合
おはよう日本（ニュース）

奈良の**郡山保健所**では第5波で浮き彫りになった課題をあらゆる面から見直そうとしている。
保健増進課・山口ユリ課長は「患者数の増加の前兆を確認して増加する前に職員の配置、増員を考慮・・・」

③　管轄する保健所の支援

IHEAT

IHEAT：**I**nfectious disease **H**ealth **E**mergency **A**ssistance **T**eam

IHEAT 登録者　13

医師	2
薬剤師	7
看護師	2
救急救命士	2

1-2月の支援人数
のべ　27人
（支援日数　10日）

考察

アウトカムについて（未確定）

奈良県での統計では累積感染者数は、**54755人**
（2022年2月27日まで）　人口あたり　**4.17%**
中等症・重症者は　**836人**

山添村　累積感染者数は、　**32**人
（2022年2月27日まで）　人口あたり　**0.96%**
中等症・重症者は　**0人**

まとめ

1. パンデミックによる医療過疎地域コミュニティの崩壊を防ぐ目的で、奈良県山添村にて、NPOによる支援を実施している。
2. 支援は、感染防護研修の推進、ワクチン接種支援、管轄する保健所の支援の3つの面から実施し、それぞれ財団、クラウドファンディング、IHEATのサポートによる。
3. 災害時には、一過性にワークフォースの増員が求められることからボランティアによる支援は合理的である。しかし、Covid-19によるパンデミックに対する医療従事者の支援はもっと活用されるべきである。